

愛ちゃん と 希望くん



©中央共同誌会

やわたはま

# 社協だより



《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地  
八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506  
ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



今年度より保内町若草デイサービスから健康クラブ(通所型サービスA)に移り、参加されている『さくら班』の皆さん。遠くは磯崎から送迎車に乗って来ていただいています。

平均年齢85.4歳。いくつになっても素敵な笑顔!新しいことに挑戦し続け、この健康クラブでまた新しいお友達が増え、楽しく参加いただいています。

新年、明けましておめでとうございます。地域住民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、社会福祉協議会の事業推進につきまして、多大なるご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。



八幡浜市社会福祉協議会  
会長 清家 俊蔵

昨年5月1日に天皇陛下が御代替わりされ、令和の時代が始まりました。「地域共生社会」に向けた様々な取り組みが全国で展開されている今、私たち社会福祉協議会と致しまして、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、支え合いや権利擁護の視点を大切に、地域の皆様と言葉を交わしながら、共に歩んで参りたい所存です。

本年も変わらぬご支援ご厚誼を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



# 第7回赤い羽根共同募金 チャリティパーティーin八幡浜を開催

令和元年8月31日(土) 18時半〜20時、道の駅みなと内みなと交流館にて、第7回赤い羽根共同募金チャリティパーティーin八幡浜を開催しました。このイベントは、2500円のチケットをご購入いただいた方、飲食料品やお楽しみ抽選会の景品、協賛金のご提供をくださったお店や企業など、多くのご支援・ご協力をいただいで、毎年開催しています。200名にチケットを購入いただき、当日は181名の出席を得て、にぎやかに開催することができました。当日は、愛媛県共同募金会の葉

師神会長、愛媛県社会福祉協議会の河田会長にもご出席いただきました。また、愛媛マンダリンパイレーツの選手も試合の合間に駆け付け、参加者と交流をしていただきました。パーティー最後は、恒例となったおたのしみ抽選会。協賛社様にいただいた商品等を景品に、大変盛り上がりしました。今年も企画くださいました皆さまのご協力により、赤い羽根共同募金に多くの寄付を行うことができました。収支決算報告と協賛社様のご紹介をいたします。



今年も笑顔で参加いただき、感謝



見事景品の当たった  
愛媛マンダリンパイレーツの選手

## 協賛社さま一覧 (敬称略・順不同)

- (有)菊池本店
- 西野金陵(株)
- (株)アキタ
- 中国醸造(株)
- 梅錦山川(株)
- 三和酒類(株)
- サントリー酒類(株)
- サッポロビール(株)
- 宝酒造(株)
- 月桂冠(株)
- 薩摩酒造(株)
- 四国電力(株)
- 八幡浜営業所
- 伊方サービス(株)
- 愛媛銀行
- 八幡浜支店
- 伊予銀行
- 八幡浜支店
- 愛媛信用金庫
- 八幡浜支店
- 四国労働金庫
- 八幡浜支店
- オレンジベイ
- フーズ(株)
- 八幡浜市職員労働組合
- 八幡浜紙業(株)
- 西南開発(株)
- (株)あわしま堂
- JAにしうわ
- 宮川菓子舗
- どーや市場
- くいもんや3005
- 八西食品(株)
- (株)本蒲鉾店
- (株)三瀬商店
- アールワンデンキ

## 第7回赤い羽根共同募金 チャリティパーティー収支決算

	勘定科目	決算額	摘要
収入	会費収入	500,000	パーティー参加券 @2,500円×200枚
	協賛金・寄付	5,000	協賛1件
	合計	505,000	

	勘定科目	決算額	摘要
支出	飲食料費	250,151	飲料代、オードブル代 他
	消耗品費	28,914	お皿等小物代、装飾代 他
	雑費	11,132	ゴミ廃棄代 クリーニング代 他
	合計	290,197	

収入合計	支出合計	差引合計
505,000円	290,197円	214,803円

収益金は、全額赤い羽根共同募金へ寄付いたします。





ふれあい・いきいきサロンの八日市出店に関するお問い合わせは、市社協(☎23-2940)まで。

また、通りがかった方が、お茶やコーヒーを飲みながら、ゆっくりお話できるようにお接待も行っています。お見かけの際には是非お立ち寄りください。

毎月8日に、新町・銀座・千代田町商店街で開催されている『やわたはま八日市』に、ふれあい・いきいきサロンが出店しています。この出店は、市内61ヶ所あるサロンから、「サロンで作った作品を販売してみたい」「展示をしてみたい」という有志のサロンで開催しています。

ふれあい・いきいきサロンが  
八日市に出店しました！

10月・11月編

出店協力

- ◆日土地区・福寿会  
布ぞうり・布ぼうしの販売
- ◆日土地区・やまびこ  
手作りカゴ販売
- ◆神山地区・花あそび  
手芸作品の展示(一部販売)
- ◆川之石地区・内之浦なかよし会  
販売・お接待などのお手伝い

内之浦なかよし会の清水さん

初めて参加しました。知らない人ばかりかと思っていましたが、保内からも八日市にいられていて、声をかけたり、買っていただいたりして嬉しかったです。福寿会の方とも楽しく交流できました。また参加したいです。

八幡浜市権利擁護センター 研修会  
いつまでも幸せに生きる  
～成年後見制度を通じて～

午前の部

「成年後見制度の理解」

講師：一般社団法人エンディングパートナー  
弁護士 池本 真彦 氏

午後の部

「いつまでも幸せに生きる  
～社会福祉士の実践から～」

講師：オフィスゆう  
代表 社会福祉士 日吉 祐一 氏

「後見支援員の活動報告」

報告：八幡浜市権利擁護センター、後見支援員

日 時：令和2年2月15日(土)  
午前の部 10:30~12:00  
午後の部 13:00~16:00  
※どちらかのみでも、受講できます

場 所：八幡浜商工会館 3階 研修室  
八幡浜市北浜一丁目3番25号

参加費：無料

対 象：成年後見制度について知りたい方、  
関心のある方など、どなたでも



お申し込み・お問い合わせ  
八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課  
TEL: 23-2940  
FAX: 23-0506



## 生活支援コーディネーター 第二層協議体・地域活動のご紹介

### 第二層協議体千丈地区 新開町花壇を花いっぱい

八幡浜市の玄関口にあたる新開町国道197号線沿いの花壇は、整備がされておらず雑草が伸び、桜の木には蔓が巻き付いていました。「気にかかる」との声が挙がり、10月26日(土)、下ごしらえの会メンバーの他、地域住民、地区社協・地区公民館・JR八幡浜駅職員、ライオンズクラブ等関係者35名に参加・協力していただき、草刈りを行いました。そして、以前『花いっぱい運動』に取り組んでいた地域の方の思いを引き継ぎ、花壇を花でいっぱい



色とりどりのパンジーを植える

いにして散歩される方やドライバースにも楽しんでいただきたいとの思いから、11月8日(金)に、パンジーの花苗やチューリップの球根を植えました。きれいな花壇を維持しながら夏の暑い時期を乗り越えていくためには、水の確保が必須となります。その方法に悩んでいた時、造園組合(代表・ヤシロ農園 山本氏)から「以前から花壇の状態を見て気になっていた。何かできることがあれば」と嬉しい協力依頼をいただき、水の運搬や土作りにご協力いただくことになりました。

これからもこの活動を継続していくためにも、地域の方やボランティア団体、企業、事業所等多くの方とつながっていくことができればと思います。

### 白浜地区 『有志の会』立ち上がる

白浜地区周辺は、スーパーや銀行、市役所、施設、病院等が歩いて行ける距離にあり、生活に便利な地域といったイメージがあります。その地域にある施設の方から、「私たちが地域でできることは何か模索している。直接、住民の方と話を伺う機会も少ない。住



和気あいあいと話はずみ

民の方はどんなことを望み期待しているのか分からない」との想いを聞かせていただきました。そこで、直接話せる機会を作ろうと、有志で集まることになりました。

初回はいろいろな立場、視点で地域のこと、自分たちができることを考えていこうと、それぞれの取り組みや気になること、やりたいこと等を出し合いました。第二層協議体として定期的に集まり話し合いを行うことを確認し、協議体長も選出。これから白浜地区中心に地域のことを考えていきます。

### 川上地区 『防災と支え合い』を考える

10月16日(水)、川上地区社協主催の『福祉のつどい』にて、防災と支え合いについて話し合いました。集まっ



自分の状況をマップに落とし込み

た約50名の方と共に、どこに・誰と避難するのか、自分の住んでいる地域や自宅周辺が災害時危険区域に当たるのか等を確認しました。その上で、一人で避難できるか、誰か一緒なら避難できるか、複数の支援が必要かをシールの色を分け地図上に貼り、見える化していきました。

その後、八幡浜市危機管理・原子力対策室(以下、危機管理室)の宮本貴史氏より、日頃の準備や避難コースを確認しておくことの大切さ等をお話いただきました。最後に、愛媛大学社会連携推進機構地域連携コーディネーターの前田 眞 教授より、『災害・避難カード』や『要配慮者マップ』の事例を挙げながら、平時から顔の見える関係づくりや防災を意識した活動をしておくことが、災害に強い地域に繋っていくとまとめていただきました。



# 八幡浜市地域支え合いセンター 平成30年7月豪雨を顧みながら、防災を考える

平成30年7月に各地で大きな爪痕を残した豪雨災害では、八幡浜市にも多くの被害をもたらしました。同年8月20日に市より市社協が「八幡浜市地域支え合いセンター事業」を受託し、被災された世帯の訪問等に取り組んできました。

過去にも浸水被害が発生したことのある喜須来地区神越では、豪雨時に複数の世帯が浸水しました。近隣住民同士で声かけをされた方、親族や友人と



第2回 被災範囲を地図で確認

片付けられた方など、それぞれの力で乗り越えられました。そのような中、地域支え合いセンターとして神越の住民さんと何か取り組めないかと考え、「神越地区7・7を顧みる会」と称したワークショップを全3回実施しました。

## 【ワークショップ1回目 4月21日】

集まっていたいただいた神越の住民や地区社協、民生委員・児童委員、見守り推進員、公民館、老人会、神越区役員と共に、発生時のことを振り返り過去に浸かった経験も踏まえながら、想いや心配ごとや気になることを共有したり、地域支え合いセンターや市社協、災害ボランティアセンターの活動について確認しました。

## 【ワークショップ2回目 6月29日】

今後も起こり得る災害に対して、今回の経験を活かしながら備えるため、各々で当時の行動をタイムラインに書き起こしました。そして、どのタイミングで避難するか、誰と気かけ合うかを話し考えました。

## 【ワークショップ3回目 10月6日】

地区内を回るウォークラリーと避難体験を企画しました。神越の住民や地区社協、民生委員・児童委員、見守り

推進員、老人会、喜須来小学校の生徒及び教員、グループホーム優瑠里、危機管理室など、様々な方に参加していただきました。

避難体験では、警戒レベル3の発令を想定して避難の疑似体験をしました。集会所に集まってからは、避難時に何を持ち出すか、誰と連絡を取り合うかなど、平時から出来る災害の備えについて考えていきました。介護サービスを利用しながら暮らしているご夫婦や、グループホームの入居者及び職員にも参加いただき、共に考え、体感することができました。

ウォークラリーでは、神越自治公民館をスタートし、浸水した地区内を実際に歩きながら、災害時の様子や川の状況、水の流れ、土地の高低差などを確認していきました。また、土地の成り立ち、歴史について詳しい方に資料の提供や解説をいただくことで、神越地区の変遷を学びました。小学生が車いすに乗りながら周り、自主的にゴミ拾いをされる夫婦がいました。それぞれの気づきや感じたことを大切にしながら取り組みました。

会の最後には、愛媛大学の前田眞教授にも災害の備えについてのお話をいただきました。今回の災害の経験を活かし、防災の視点で雨量等の情報を的確に得ながら行動する大切さや、日頃から出来る備えについて教えていただきました。また、危機管理室にも参



第3回 避難体験ワークショップ



第3回 神越地区ウォークラリー

加いただき、一緒に取り組みながら、アドバイスをいただきました。



就学・進学に必要な費用にお困りの方へ

# 生活福祉資金貸付事業 教育支援資金のご案内



**ま**ずは、他の貸付制度もご確認ください。

令和2年度より、新しい修学支援制度が始まります。(減免・給付型)  
詳しくは、日本学生支援機構ホームページをご覧ください。

	貸付制度	相談窓口
高校への進学	愛媛県奨学金資金	在籍する学校
大学等への進学	日本学生支援機構奨学金	在籍する学校
	母子父子寡婦福祉資金	八幡浜市役所 子育て支援課

## 教育支援資金

※他の奨学金制度との併用が可能です。

### 就学支度費

(入学に際し  
必要な費用)

貸付限度額	50万円以内
貸付期間	入学時に一括貸付(※入学後は利用できません)
据置期間	卒業後6カ月以内
返済期間	据置期間経過後12年以内
貸付利子	無利子
使途内容の例	入学金等入学時に学校へ納入する経費 制服、靴、体操着など入学時に一括して購入するもの

### 教育支援費

(在学中に  
必要な費用)

貸付限度額	高等学校……………月額35,000円以内 (専修学校高等課程含む) 高等専門学校………月額60,000円以内 短期大学……………月額60,000円以内 (専修学校の専門課程含む) 大学……………月額65,000円以内 ※ 特に必要と認められ、かつ将来計画が明確に定められる場合は上記金額の1.5倍まで増額可能。
貸付期間	在学中
据置期間	卒業後6カ月以内
返済期間	据置期間経過後12年以内
貸付利子	無利子
使途内容の例	授業料、学校納入費用、参考書、学用品、交通費

生活のこと、家計のこと、仕事のことなど、生活のしづらさを感じた時、  
まずはご連絡ください。電話、訪問、来所など、ご希望の方法でお話を伺います。

お問合せ先:八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL:0894-23-2940



# 食べることに 困っていませんか？

日々の生活に不安を抱えているあなたのところへ、  
『**おもいやり食糧**』を**無償**でお届けします。



八幡浜市社会福祉協議会では、フードドライブを行っています。地域の皆さまから、ご家庭で眠っている食品の寄付をいただき、お困りのご家庭へお届けしています。

お届けするのは、  
寄付された食糧です。

- お米
  - 魚・肉等の缶詰
  - ソーセージ
  - レトルト食品
  - インスタント食品
  - お菓子
- など



まずは  
ご相談ください！



八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課

☎ (0894) 23-2940

✉ [sakurada@yawatahamashi-syakyo.jp](mailto:sakurada@yawatahamashi-syakyo.jp)

月～金曜日（祝・祭日を除く） 8:30～17:30



# 令和元年度 八幡浜市社会福祉大会

とき／令和元年1月25日（土）  
 場所／八幡浜市文化会館ゆめみかん  
 大ホール

八幡浜市の社会福祉の発展にご尽力され多大な功績を残された方々を、感謝をこめて表彰します。そして、誰もが安心して暮らせる地域づくりの実現に向けた活動に、一人ひとりが考え参画する機会と、地域福祉のさらなる充実を目指します。

時間	内容
12:30	開場・受付
13:30	開会 式典 表彰・感謝状贈呈 他
14:15	記念講演
16:00	閉会

## 記念講演

演目 「いつかの涙を光にかえて」  
 ～小さなピアノが教えてくれたこと～

**入場無料！**  
 お気軽に  
 お越しください

出演者 はた とも え  
**畑 奉 枝 氏**  
 （トイピアノ&ピアノ奏者）



### 畑さんよりメッセージ

皆さまは“トイピアノ”をご存知でしょうか。どこか懐かしくて素朴、幻想的な響きも兼ね備えた不思議な魅力を持つ楽器です。

長きに亘り精神障害を抱えてきた兄との家族の絆を取り戻すことが出来たきっかけは、小さなおもちゃのピアノ＝トイピアノでした。

「朗読劇」「トークセッション」「トイピアノとソプラノによるコンサート」が、家族との関りや、人に優しい社会づくりについて考えるきっかけとなれば嬉しいです。

### 第1部

朗読劇「いつかの涙を光にかえて」

### 第2部

幸田裕司 氏とトークセッション

### 第3部

ソプラノ歌手とデュオコンサート

### 出演者

畑 奉枝 氏  
 青田いずみ 氏  
 椎名 友樹 氏  
 今久保宏美 氏  
 幸田 裕司 氏



### ■ 畑 奉枝さんプロフィール

愛媛県西条市出身。武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ソロ活動及びいくつかのアンサンブルグループに所属し、フリーのピアノ奏者としての活動や音楽教室の経営を行う。その後約10年間音楽事務所に所属し、コンサート企画・制作演奏部門の責任者として、幅広いジャンルのコンサート作品を手掛け全国展開。ピアノ演奏のみならず、司会進行・教育機関での職員研修・後援会・イベントワークショップ企画なども行う。

独立後2008年7月〔sound office 音旅舎〕を設立、ピアノ&トイピアノを駆使した独自の演奏活動や作詞作曲活動を展開。全国各地の舞台アートフェスティバルやイベント等に数多く出演。プロデュース作品が“厚生労働省社会保障審査議会推薦文化財”に認定されるなど、各分野のスペシャリストと共にオリジナリティ溢れる舞台企画を制作、演奏活動を行っている。

2013年オリジナルCD〔ヒカリノオト〕発売。2018年著書〔いつかの涙を光にかえて〕出版(サンパティック・カフェ刊)〔sound office 音旅舎〕代表。